EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

62057726

PUBLICATION DATE

13-03-87

APPLICATION DATE APPLICATION NUMBER 04-09-85 60195611

APPLICANT: AISIN SEIKI CO LTD;

INVENTOR:

SAKABE YUJI;

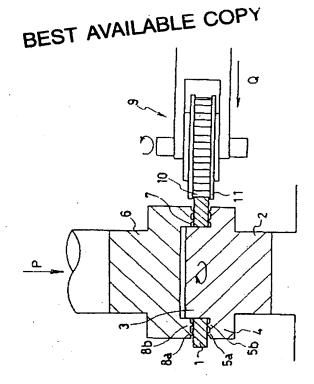
INT.CL.

B21H 5/02

TITLE

FIXING DEVICE FOR GEAR ROLL

FORMING DEVICE



ABSTRACT :

PURPOSE: To roll-form gears by plastic working without causing any changes in their axial hole dimensions, by clamping a blank material for gear with projected sections installed to the surface of the pressing section of the upper holder of a blank material fixing device.

CONSTITUTION: A blank material 1 of a gear, such as ring gear, etc., is strongly clamped by projected sections 5a and 5b installed to the surface of the fixing section 4 of the lower holder 2 of this fixing device and projected sections 8a and 8b installed to the surface of the pressing section 7 of the upper holder 6, by putting the axial hole of the blank material 1 on the shaft section 3 of the bottom-side holder 2 an pressing the upper holder 6 downward with a pressure P. Then a gear roll forming tool 9 provided with a gear making tool 10 and keeping plate 11 is pushed against the side face of the blank material 11 with a pressure Q and rotated in the direction shown by the arrow. Therefore, the blank material 1 is rotated in the same direction under a condition where the blank material 1 is integrated with the holders 2 and 6 in one body and teeth are roll-formed on the peripheral surface of the blank material 11 without causing any changes in the inner diameter dimensions of the axial hole.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭62 - 57726

(全4頁)

@Int_Cl_4

砂発

明

識別記号

俊 久 庁内整理番号

匈公開 昭和62年(1987) 3月13日

B 21 H 5/02

6689-4E

発明の数 1

69発明の名称 歯車転造装置の固定装置

> 创特 頤 昭60-195611

邻出 頤 昭60(1985)9月4日

砂発 明 田 伸 刈谷市朝日町2丁目1番地 アイシン精機株式会社内 砂発 明 者 井 E E 石

刈谷市朝日町2丁目1番地 アイシン精機株式会社内 刈谷市朝日町2丁目1番地 アイシン精機株式会社内 刈谷市朝日町2丁目1番地 アイシン精機株式会社内

未請求

明 ⑫発 者 実 明 ⑫発 司

刈谷市野田町場割11 豊容精機株式会社内

審査請求

の出 願 アイシン精機株式会社 刈谷市朝日町2丁目1番地

発明の名称

歯車転造装置の固定装置

特許請求の範囲

軸部と固定部を有する下側ホルダーと、加圧部 を有する上側ホルダーよりなる、歯車転造装置の 歯車素材固定装置において、前記下側ホルダーの 固定部表面及び前記上側ホルダーの加圧部表面に、 歯車業材をクランプする突起部をそれぞれ又はい ずれかの一方に設けてなる歯車転造装置の歯車素 材の固定装置。

発明の詳細な説明

(発明の目的)

(産業上の利用分野)

本発明は歯車転造装置に関するもので、軸穴を 有する歯車の転造装置として、特に自動車のエン ジン駆動部に使用されるリングギャーのような中 空で肉厚が薄い大型のリングギャーの歯車転造装 置の固定装置として広く利用されるものである。 (従来の技術)

本発明に係る従来技術としては、第4回に示す らに歯車素材11を、下側アーバ12に嵌合して、 センターを出し、上側アーバ13にてクランプ圧 🗀 着し、1~2個の転造ローラA、Bにて歯車素材 1.1を回転し、歯車素材の外間に歯形を成形する

(発明が解決しようとする問題点)

然し前記製造装置は、動穴を有する歯車、特に 薄肉歯車を転造する場合に、歯車転造装置の歯車 工具から歯車素材に加えられる押圧力により歯車 素材の軸径の一部がアーバの軸部に押しつけられ るので高い応力が歯車業材に発生し、塑性変形し て軸穴径が拡大し、それに伴い外周も一部変形し て正しい歯車の塑性加工ができないという問題点 がある。これを第6~7図により説明すれば、歯 車業材11を、下側アーバ12a,上側アーバ1 3 a にてクランプし転造加工すると、薄肉で大径 のリングギャーの、中空孔15は第7図の15 a に示すんようにリングギャーの中空孔の一部が大 きく変形し歯車転造工具で成形の場合に1回転し

ても歯形が合致しなくなつたり歯形の形成ができ なくなるという問題点がある。

本発明はリングギャー等の中空で肉厚が薄い大型のリングギャーを歯車転造装置にて塑性加工を行う場合に、内径の寸法の変化が殆んどなく従つて正確な寸法にてリングギャーの製造が出来る歯車転造装置の固定装置を提供することを目的とするものである。

(発明の構成)。

(問題点を解決するための手段)

上記技術的課題を解決するために講じた技術的手段は、次のようである。すなわち、リングギャー素材の軸孔に下側ホルダーの軸部を嵌合し、上側ホルダー及び下側ホルダーにで前記リングギャーをクランプにして加圧する、ギャー固定面になって、下側ホルダーの歯車素材の固定になって、以上側ホルダーー素である。また、リングギャーの側面の単位面積当りの正

ランプする加圧面7に突起8a.8b.が 設けてある。9は歯車転造工具で歯車工具10. 拘束板11があり、リングギヤー業材1は加圧力 Pにより前記突起5a.5b及び8a.8bが強く接触し下側ホルダー2と上側ホルダー6と一体 で回転し、偽車工具10は抑圧力Qが作用し歯車 が成形されるものである。

カをアップし強力に固定し、転造工具により歯車 を転盗成形するものである。

(作用)

、上記技術的手段は次のように作用する。すなわち、協車素材を下側ホルダー及び上側ホルダーによりクランプする場合に前記それぞれのホルダーに設けた突起が歯車素材をクランプすることに対した場合に単位面積 2 り一定の加圧力 P が作用した場合に単位面積 2 りの圧力が強くなり、協車素材の表面に対になるために接触し固定するためになない。形状変化は殆んどなり、従って外形の変形もないために正しい歯車の形成ができるものである。

(実施例)

以下実施例について説明する。1は被加工物であるリングギャー素材で、2は下側ホルダーで、リングギャー素材の軸孔に嵌合する軸部3があり、4は下側ホルダーの固定部でその表面に5a,5b...の突起が設けてある。

6は上側ホルダーで、リングギャー素材1をク

に厚くなり歯形が更に成形されると (ハ)~ (二) に示すように1 d → 1 e と歯車の歯底の付近の 肉が両側に盛りあがり歯車が成形されるもので、 歯車素材の軸孔はまつたく影響がない状況を示す。

次に第3図のリングギャー素材に於いて、C=216 φ ± 0.1 mm, D=248.3 φ mmで板厚7.0 ~7.5 mmの機械投資用炭素鋼のリングギャー素材1を、P=10 TON,Q=5 TON の加圧力でモージュール2.5 の歯車を塑性加工したところ、前記突起を設けた場合と従来方式(突起のない第6図の装置)で実施した結果、従来方式はC寸法の216 φ mm が第7図の15 a に示すように変形し歯車工具10が1回転した場合に歯形の成形がまつたくできなかつた。

本発明のようなホルダーに設けた突起によりクランプした場合にはC寸法の拡大量はすべて 0.3 mm以内に入り、従つてD寸法の寸法変化及び形状変化もなく、M=2.5 の歯車が成形できた。

又前記突起については下側ホルグー又は上側ホ ルダー側にそれぞれ単独に設けても良い。

特開昭62-57726(3)

(発明の効果)

本発明は次の特有の効果を有する。すなわち、 車業材を軸孔にてセンターを出し下側ホルター 及び上側ホルターにてクランプして、歯車転記 選にて塑性加工により歯車を成形する場合に、 足にて歯車業材を強く固着するために、 最直を化が発んとないために、 歯車をがいために、 歯車をがいたがある。 がで加圧する装置も小さくなり大巾な設備の低コストが可能となるものである。

図面の簡単な説明

第1図は本実施例の断面说明図であり、第2図は本実施例による塑性加工の工程図で、(イ)は加工前、(ロ)~(ハ)は加工中、(二)は加工後を示す断面図であり、第3図は一部破断したリングギャーの平面図を示す。

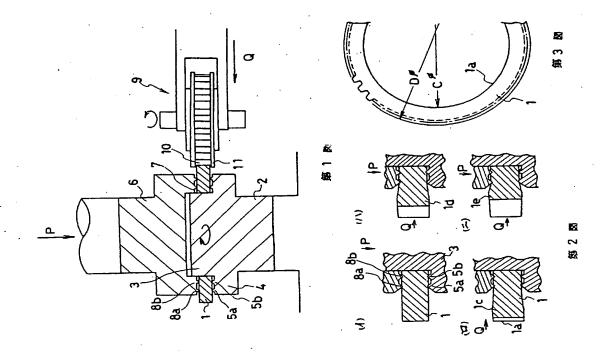
第4図〜第7図は従来例の説明図で、第4図は 歯車転造加工装置の簡略した側面図であり、第5 図は第4図の平面図であり、第6図は歯車素材の クランプ加圧中の断面図であり、第7図は歯車加 工中の一部破断した平面図である。

1 · · · 歯車業材. 2 · · · 下側ホルダー. 3 · · · 下側ホルダー軸部. 4 · · · 下側ホルダー の固定部. 5 a · 5 b · · · 突起, 6 · · · 上側 ホルダー, 7 · · · 上側ホルダーの加圧部. 8 a · 8 b · · · · 突起

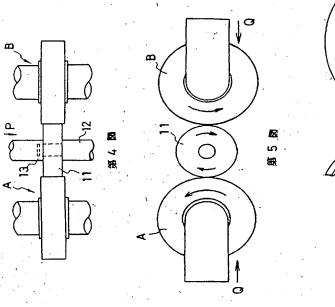
特許出願人

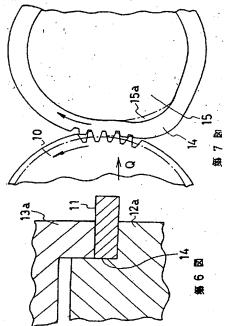
アイシン積機株式会社

代表者 伊 廢 清



特開昭 62-57726 (4)





This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record.

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

□ OTHER: ____

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.